

ゼネラルパッカー通信

証券コード 6267

Investors' Guide

2021年7月期(第60期)中間

2020.08.01→2021.01.31

世界の品質を
”包装“で守る



包装システムのトータルプランナー
GD ゼネラルパッカー株式会社

顧客ニーズへの対応力強化、 課題解決型営業の実践を軸に、 さらなる躍進に向け グローバル展開の拡大を 目指してまいります。



株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ここに当社第60期第2四半期累計期間(2020年8月1日から2021年1月31日まで)の営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **牧野 研二**

業界動向と当社販売推移

最初に、当社の主力事業であります「包装機械事業」と「生産機械事業」の業界動向と販売推移についてご説明いたします。

包装機械事業の業界動向は、経済産業省の「生産動態統計」では、当社が位置づけられている製袋充てん機の生産額は、2020年7月期下半期にあたる2020年2月～7月が最も新型コロナウイルス感染症拡大の影響の大きかった時期であり、前年同期に対して91.8%と減少しています。当社の包

装機械事業の売上高につきましても同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上のずれ込み等により、2020年7月期下半期は前年同期比78.6%となりました。

生産機械事業の業界動向は、経済産業省の「生産動態統計」では、当社が位置づけられている製パン・製菓機械の生産額は、2020年7月期下半期の生産額が前年同期に対して92.0%と減少しています。こちらも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が出ていると思われます。当社の生産機械事業につきましても同様に、2020年7月期下半期の売上高が前年同期比で73.2%と減少傾向となっております。

2021年7月期上半期の決算概況と通期業績予想

2021年7月期上半期の売上高は、4,283百万円と前年同期比750百万円の減収となりました。主な要因としましては、包装機械事業では製袋自動包装機の販売増加により373百万円の増収となったものの、当上半期の売上予定案件の当下半年へのずれ込み及び、給袋自動包装機の販売実績の減少等により減収となりました。一方、営業利益は516百万円と前年同期比14百万円の増収となりました。主な要因としましては、包装機械事業での売上総利益率の改善、広告宣伝費や旅費交通費を中心とした経費抑制によるものです。

通期業績見通しに関しましては、売上高8,200百万円(前期比3.8%減)、営業利益746百万円(前期比10.7%減)、経常利益750百万円(前期比10.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益535百万円(前期比5.8%減)を見込んでいます。売上高につきましては、売上予定案件の当下半年へのずれ込みがあるため、当初計画の達成を見込んでいます。利益につきましては、当上半期の実績及び、当下半年における売上総利益の見込みや費用執行計画等を総合的に勘案した結果、営業利益、経常利益でそれぞれ100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益については80百万円上方修正いたしました。

第6次中期経営計画取り組み状況

当期からスタートした第6次中期経営計画(2021年7月期～2023年7月期)は、「さらなる躍進に向けグローバル展開の拡大を目指す」を基本戦略に掲げています。また、3年間の計画期間を「連結グループの安定成長基盤整備の時期」と位置づけ、国内市場での安定的な収益確保とグローバル市場売上高比率40%以上の実現に向けて取り組んでいます。具体的には、顧客ニーズへの対応力強化と課題解決型営業の実践を販売戦略の中心として、国内市場では安定的な収益

と成長を確保してまいります。さらに、新規分野への進出、グローバル市場でのアライアンス強化、3極販売体制の確立に向けて取り組んでまいります。

株主様へのメッセージ

2021年7月期の中間配当は、予定通り1株当たり25円とさせていただきます。期末配当につきましては、業績予想を上方修正したことから、期初予想より5円増配して35円としています。年間では、2020年7月期と同額の60円を予定しております。

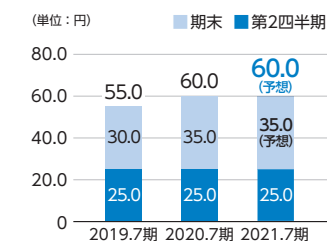
当社は食品や医薬品を安全・確実に包装する技術を通じて、より大きな社会貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性に努めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

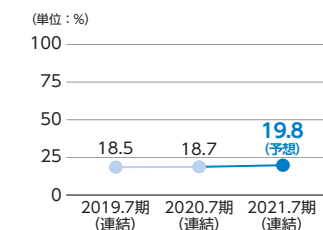
株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指しています。

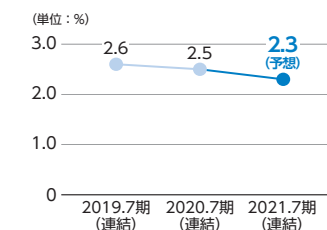
1株当たり配当金



配当性向



純資産配当率(DOE)



経営成績に関する定性的情報

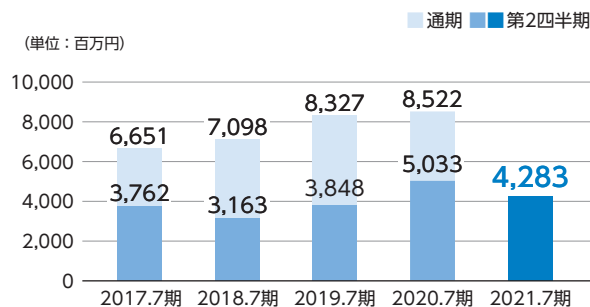
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用環境の悪化や企業収益の大幅な減少が続くなど、景気は厳しい状況で推移いたしました。このような状況のなか、当社グループは「連結グループの安定成長基盤整備の時期」と位置づけた第6次中期経営計画(2021年7月期～2023年7月期)を策定し、さらなる成長に向けて、グローバル展開の拡大とグループ会社間の事業連携強化を重要課題として取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外案件において当初計画で

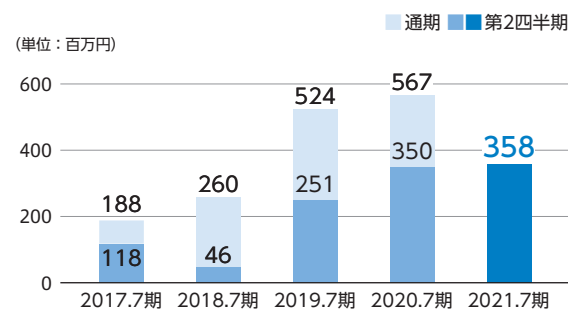
は上半期の売上予定としていた案件の下半期へのずれ込みが発生したこと等により、前年同期に比べ750百万円の減収となりました。一方で利益につきましては、包装機械事業において売上総利益率が改善したこと、グループ全体で販売費を中心に経費が抑制されたこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。包装機械事業は、売上高は4,049百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は561百万円(前年同期比19.1%増)となりました。生産機械事業は、売上高は234百万円(前年同期比65.1%減)、営業損失は44百万円(前年同期は営業利益31百万円)となりました。

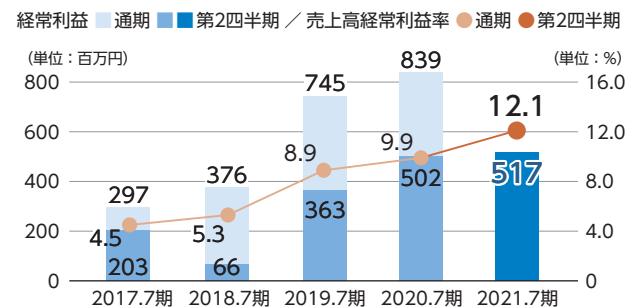
売上高



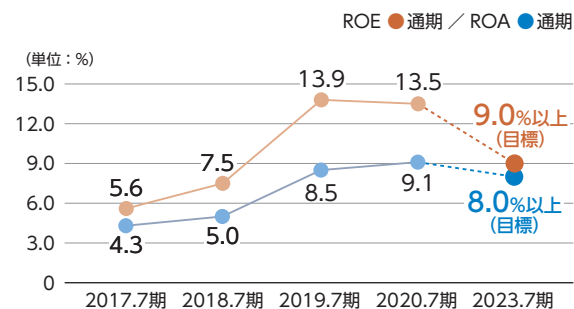
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



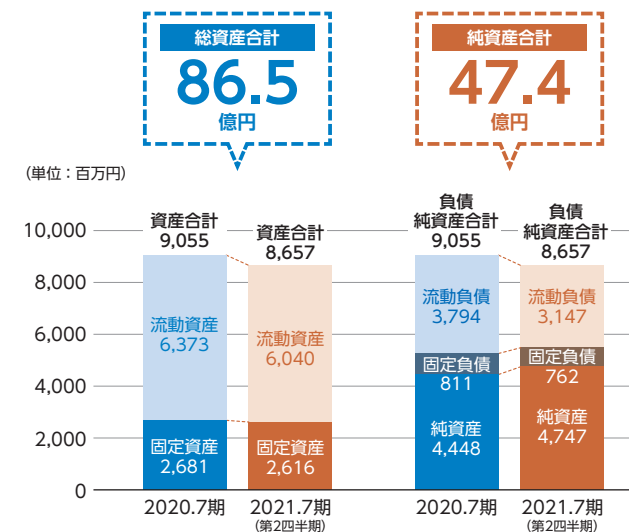
経常利益/売上高経常利益率



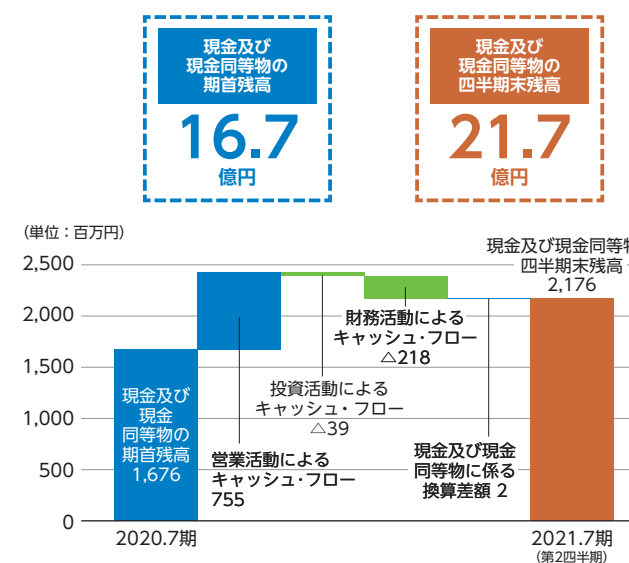
ROE/ROA



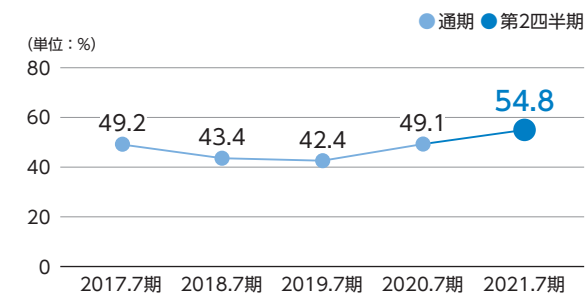
財務状況



キャッシュ・フローの推移



自己資本比率



財務分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は8,657百万円となり、前連結会計年度末に比べて397百万円減少いたしました。この主たる要因は、現金及び預金が499百万円増加したものの、棚卸資産が456百万円、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が360百万円、それぞれ減少したこと等によりです。

負債合計は3,910百万円となり、前連結会計年度末に比べて696百万円減少いたしました。この主たる要因は、仕入債務が466百万円、借入金155百万円、それぞれ減少したこと等によりです。

キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果得られた資金は755百万円(前年同期は489百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益516百万円、棚卸資産の減少額456百万円、売上債権の減少額275百万円等であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額466百万円、法人税等の支払額139百万円等であります。

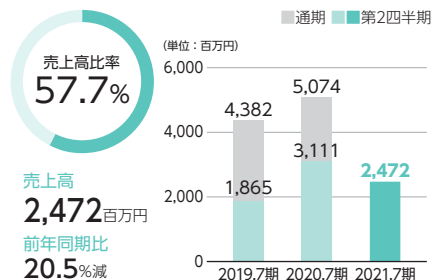
包装機械



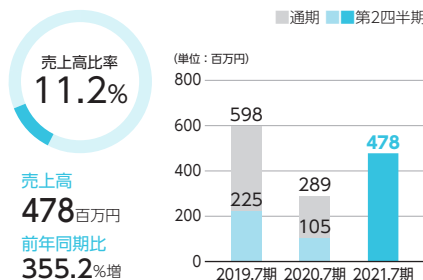
包装機械事業におきましては、メカトロハイスペック包装機を中心とした給袋自動包装機の販売実績が減少したことに伴い、売上高は4,049百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は561百万円(前年同期比19.1%増)となりました。



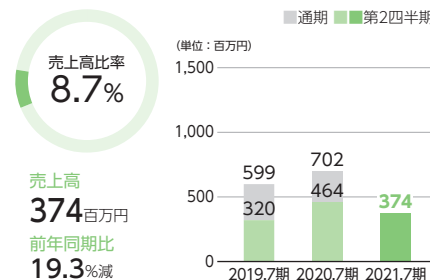
給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



包装関連機器等



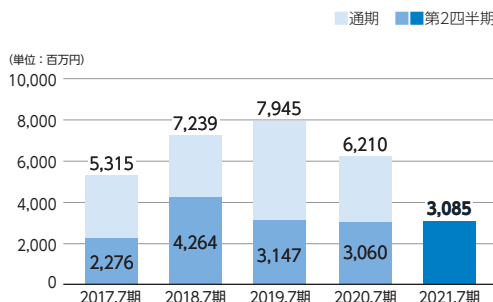
生産機械



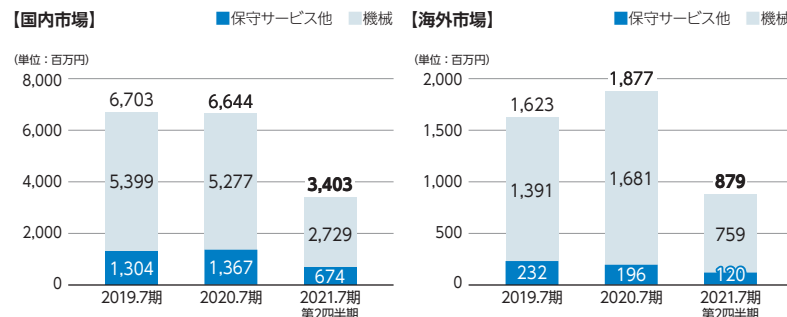
生産機械事業におきましては、大型プラント案件の販売実績が減少したことに伴い、売上高は234百万円(前年同期比65.1%減)、営業損失は44百万円(前年同期は営業利益31百万円)となりました。



機械受注高



エンドユーザー国内・海外売上高(包装機械・生産機械合計)



会社概要

商号	ゼネラルパッカー株式会社	
英文社名	GENERAL PACKER CO., LTD.	
設立	1966年2月(創業 1961年12月)	
資本金	2億5,157万7千円	
事業内容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売	
従業員数	190名(連結)	157名(単体)
本社・工場	〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺 神明65番地 Tel.(0568)23-3111(代) Fax.(0568)22-3222	
東京営業部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-5-8 KDX神田北口ビル4F Tel.(03)3256-3891(代) Fax.(03)3256-3893	
子会社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司	

(2021年1月31日現在)

役員

代表取締役社長	牧野 研二	
取締役副社長	小関 幸太郎	オサ機械(株) 代表取締役
常務取締役	鈴木 完繁	オサ機械(株) 代表取締役社長
取締役	尾関 津義	
取締役	水野 智之	
社外取締役(監査等委員)	福井 義雄	
社外取締役(監査等委員)	村橋 泰志	
社外取締役(監査等委員)	浅井 一郎	
社外取締役(監査等委員)	森田 卓寿	

(2021年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	5,600,000株
発行済株式総数	1,798,800株
株主数	600名

(2021年1月31日現在)

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.03
ゼネラルパッカー従業員持株会	225,000	12.53
MSIP CLIENT SECURITIES	86,400	4.81
ゼネラルパッカー取引先持株会	83,100	4.63
株式会社りそな銀行	78,400	4.36
高野 季久美	77,800	4.33
田中 かな	77,800	4.33
梅森 輝信	53,700	2.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	47,985	2.67
島末 孝法	39,200	2.18

(2021年1月31日現在)

株主数構成比



株式数構成比



個人・その他	株数	比率
個人・その他	552名	92.0%
その他法人	24名	4.0%
証券会社	15名	2.5%
外国人	6名	1.0%
金融機関	2名	0.3%
自己名義	1名	0.2%
個人・その他	1,225,617株	68.1%
その他法人	340,080株	18.9%
金融機関	126,385株	7.0%
外国人	89,705株	5.0%
証券会社	15,542株	0.9%
自己名義	1,471株	0.1%

(2021年1月31日現在)

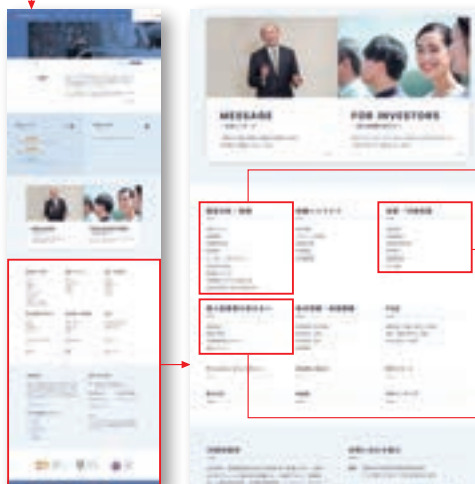
IRサイトでも、詳しい情報を提供しています。

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

▼トップページ



▼IRページ



主なコンテンツ

経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR情報などをご覧いただけます。

決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

個人投資家の皆さまへ

業界情報や事業内容や特長、配当についてわかりやすく解説しています。

<https://www.general-packer.co.jp/ir/>

株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日
	期末配当金 7月31日
	中間配当金 1月31日
	その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 Tel. 0120-707-843 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL	https://www.general-packer.co.jp/

各種手続きのお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。



本社・工場

〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地
Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222

東京営業部

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 KDX神田北口ビル4F
Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893

